

障害者が農業（薬草・山菜・野菜の里 竹坂ファーム）を通して、季節の七十二侯で、心身共にリフレッシュし、体力をつけ、社会・現場復帰、再就職する「半農×半ICT」多機能型事業所です。

ドローンでの空撮動画はこちら▶

ちょうかんず

【竹坂ファーム鳥瞰図】



※「七十二候」とは、旧暦で、1年を七十二に分けた六日間を一候とし、その時候の変化を示したもの。つまり、日本の気候や生物、食べ物に合わせた暦です。

ICT指導体制

『正しいパソコン活用の仕方』をモットーに、弊団の各ICT分野の専門家が、丁寧に技術指導をし、自信が持てるスキルアップを目指します。

障害へ理解

職員（支援員）は、利用者さんの障害特性を理解した上で、障害に理解ある対応・環境づくりに努めています。

定期的な面談・振り返り

個別支援計画に基づく支援の方向性が適正であるか、変更が必要かなど、1カ月単位で振り返りを行い、じっくりと話し合いをします。

多様な業務内容

様々な仕事の経験ができるよう、『トライ体験』業務を大切にしています。このことは、一般就労に進む際の自己把握や、チームプレーに慣れることにもつながります。

施設内と施設外

事業所の中での仕事と、実際の企業の中で仕事をする「施設外就労」があります。どちらの所属になるかは、ニーズや特性に合わせて設定いたします。

※自立訓練・生活訓練利用条件等

利用条件：ご本人の意向（障害者手帳や自立支援医療のない方でも、医師の意見書があれば利用可能な場合があります）
利用期間：最長で通算24か月利用可能
利用料金：前年度の収入により異なり、月額0円～最大で約2万円弱となります

主な1日の流れ

9:00～9:30	来所、朝礼、清掃
10:00～12:00	農業、ICTプログラム、面談
12:00～13:00	昼休息
13:00～14:45	農業、ICTプログラム、面談
14:45～15:00	終礼、日報作成

※季節、仕事によって変わります

■アドバイザーの方々からの応援メッセージ



蔵田和樹

株式会社ひまわりプラン 代表取締役

「働く」には、「傍（はた）を楽にする」という考え方があります。自分の為ではなく、周囲の人を楽にする、喜ばせるために仕事をすれば、「働く」ことの本質を見つけることができます。是非、人間味溢れる信頼関係を築いてください。



森木聡人

広島県障害者相談支援事業連絡協議会 会長
社会福祉法人 大乘福社会 大乘こども園 理事長

肉体労働と知的労働が二極化してとらえられ差別されることがありますが、就労継続支援A型(雇用型)事業所として、障害のある人の農業とICTによる百人邑の挑戦で、その働きの価値が社会で認められることを強く期待しています。